

JENESYS2025 ASEAN 同窓生のオンライン訪日プログラムの記録 (テーマ：日本文化・刀)

1. プログラム概要

【目的・概要】

過去に JENESYS 事業に参加した ASEAN 地域の同窓生を対象に、日本の代表的な伝統文化「日本刀」をテーマとしたオンラインプログラムを実施しました。レクチャーや刀工場のバーチャルツアー、アプリを使用した刀の鑑賞を通じて「日本刀」を体験し、後半では参加者間交流として、複数のグループで文化体験の感想や自国の伝統文化などを共有しました。プログラムを通じて親日・知日度を高め、同窓生同士の継続的な交流と連携を促進しました。

【参加者】ASEAN 諸国の JENESYS 同窓生 合計 25 名

(内訳) インドネシア 2 名、カンボジア 1 名、シンガポール 2 名、フィリピン 8 名、ベトナム 2 名、マレーシア 5 名、ミャンマー 1 名、東ティモール 4 名

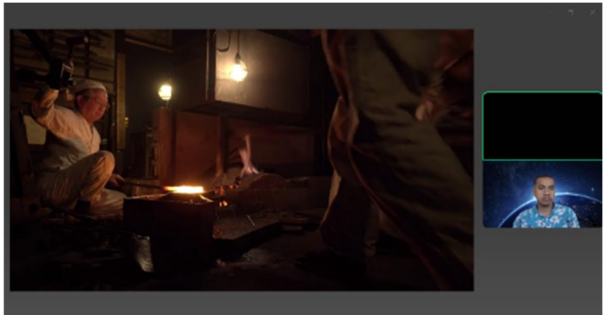
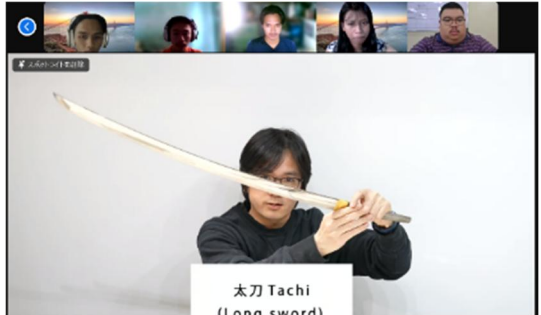
【日程】

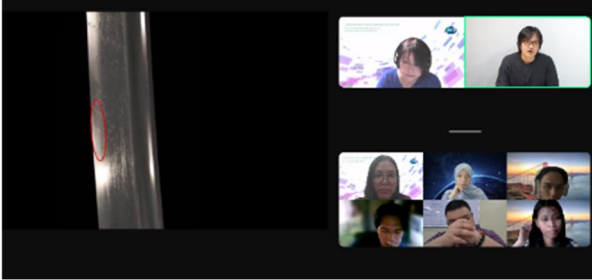
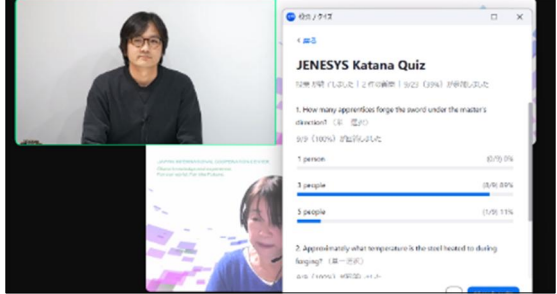

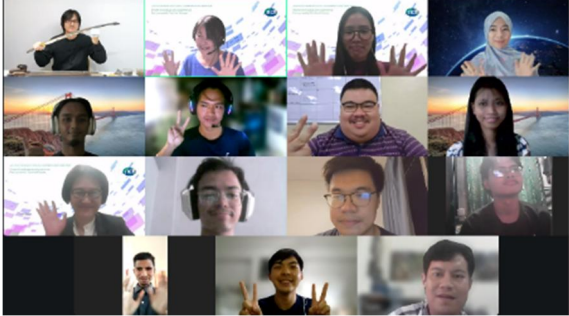
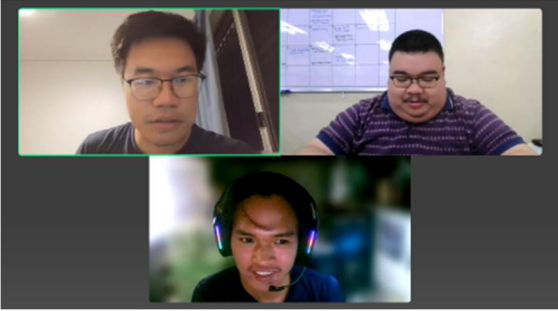
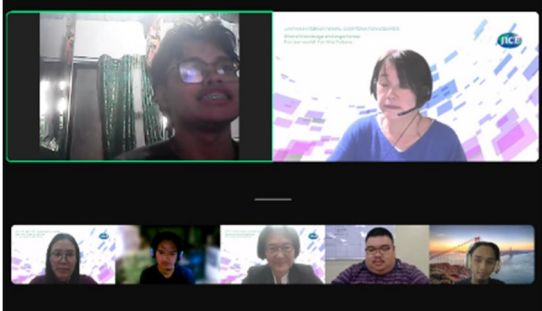
■ オンライン訪日プログラム：2026 年 3 月 12 日（木曜日）

1. 開会
2. 【日本文化体験】「日本刀」
講師：株式会社 Studio 仕組 河内 晋平 代表取締役
3. 質疑応答
4. 記念撮影
5. 【参加者間交流】グループディスカッション
テーマ：① 日本文化体験“日本刀”の感想や気づきの共有
② 自国の文化の共有
6. 閉会

2. 記録写真

オンライン訪日プログラム

	
<p>【日本文化体験】「日本刀」 (刀工場のバーチャルツアー)</p>	<p>【日本文化体験】「日本刀」 (日本刀についてのレクチャー)</p>

	
<p>【日本文化体験】「日本刀」 (アプリを使った刀の見どころ鑑賞)</p>	<p>【日本文化体験】「日本刀」 (クイズ)</p>
	
<p>【質疑応答】</p>	<p>【記念撮影】</p>
	
<p>【参加者間交流】グループディスカッション</p>	<p>【同窓生発表】</p>

3. 参加者から寄せられた質問・関心事項（抜粋）

◆ 【文化体験】日本刀について

- ・ 刀剣は一人だけのために作成するのですか。
- ・ 刃文には様々な種類がありますが、なぜなのでしょう。
- ・ 日本では、誰もが刀剣を購入することができるのですか。

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ マレーシア 社会人

とても興味深く勉強になる内容でした。講義を通して、日本刀の歴史や背景について理解を深めることができました。アニメで刀鍛冶の里が描かれている場面を見たことがありますが、まさか実際の世界もアニメで見たものと同じ雰囲気だとは思っていませんでした。また、日本の映画では、刀の魂について語られることがありますが、正直、ただの作り話だと思っていました。ですが先生が私の質問に答えてくださったことで、そうではないことがわかりました。この講義に参加できて、本当に感謝しています。

◆ 東ティモール 大学院生

刀が単なる武器ではなく、侍の魂や日本の歴史を象徴する存在であることを学びました。画面越しではありましたが、職人の技やこだわりについての説明を見て、日本刀づくりに込められた伝統や規律への深い敬意を感じることができました。私の出身である東ティモールにも、文化的な物語を持つ伝統武器があるため、日本刀に宿る誇りや精神にとても共感しました。今回のセッションを通して、日本がこうした文化的な宝物を大切にしていることへの理解と敬意が、さらに深まりました。

◆ フィリピン 高校生

日本刀や刀鍛冶の素晴らしい世界を学ぶ機会をつくっていただき、本当にありがとうございました。日本刀づくりの技や伝統、職人さんたちのこだわりを間近で知ることができて、とても感動しました。こんな貴重な文化体験を共有してくださって、心から感謝しています。

5. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 講師

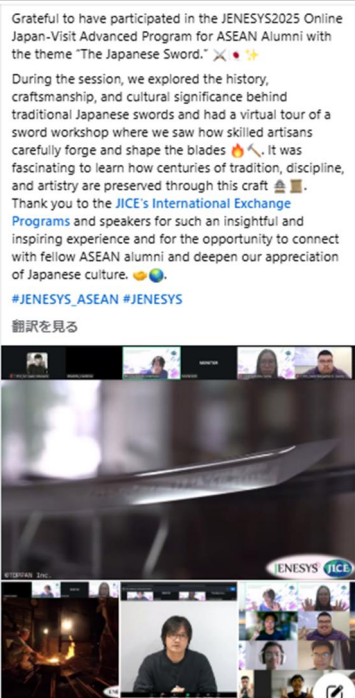
本日は、海外の皆様にご日本文化をお伝えする貴重な機会をいただき、誠にありがとうございました。一時間という限られた時間ではありましたが、日本の精神性が宿る日本刀の魅力に触れていただけると大変有意義な時間となりました。

日本刀は、世界的に見ても非常に独自性の高い不思議な文化ですが、参加された皆様の出身国にも、それぞれに固有の素晴らしい伝統や文化があることと思います。

私自身も、皆様の国の文化に深く関心を持ち、いつか知る機会を持てればと願っております。

このような素晴らしい国際交流の場を設けていただいた関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

6. 参加者の対外発信（抜粋）

 <p>Grateful to have participated in the JENESYS2025 Online Japan-Visit Advanced Program for ASEAN Alumni with the theme "The Japanese Sword." ✂️🇯🇵🇯🇵</p> <p>During the session, we explored the history, craftsmanship, and cultural significance behind traditional Japanese swords and had a virtual tour of a sword workshop where we saw how skilled artisans carefully forge and shape the blades 🔥🔪. It was fascinating to learn how centuries of tradition, discipline, and artistry are preserved through this craft 🏺.</p> <p>Thank you to the JICE's International Exchange Programs and speakers for such an insightful and inspiring experience and for the opportunity to connect with fellow ASEAN alumni and deepen our appreciation of Japanese culture. 🇯🇵🌍</p> <p>#JENESYS_ASEAN #JENESYS</p> <p>翻訳を見る</p>	<p>2026年3月13日（Facebook）</p> <p>JENESYS2025 ASEAN 同窓生向けオンライン訪日プログラム「日本刀」に参加できたことに、感謝いたします。</p> <p>セッションでは、日本刀の歴史や職人技、文化的な意味について学び、さらに刀鍛冶の工房をオンラインで見学して、熟練の職人さんたちがどのように刀を鍛え、形づくっていくのかを知ることができました。何百年も受け継がれてきた伝統や精神、そして芸術性が今も大切に守られていることに、とても感動しました。</p> <p>このような貴重で刺激的な機会をくださった講師の方に心から感謝しています。また、ASEANの仲間たちとつながり、日本文化への理解をさらに深めることができたことも、とても嬉しかったです。</p>
--	--

7. 同窓生発表

ディスカッションテーマ：

- ① 日本文化体験“日本刀”の感想や気づきの共有、② 自国の文化の共有

発表者（フィリピン）
これまで日本刀は、映画やアニメの中でしか見たことがありませんでしたが、今回は実際に本物の日本刀を見ることができ、その美しさや迫力に興味を惹かれました。ディスカッションでは、日本刀の魅力について意見を交わした後、自然と話題は各国の刀剣へと広がりました。マレーシアの参加者は、伝統的な刀剣「クリス」について話し、フィリピンの参加者は、「バリソン」という短刀を紹介してくれました。各国の刀剣について語り合うことは、とても楽しい時間でした。
発表者（フィリピン）
日本刀を作る工程を見ることができたことは興味深かったです。刀鍛冶の想いや精神を映し出す刃文（焼き入れ模様）の美しさと重要性について学びました。フィリピンには「ティニクリン」とよばれる竹を用いた伝統舞踊があります。長い竹をリズムよく打ち鳴らし、その間を軽やかにステップでかわしながら踊るこの舞踊は、私たちの大切な文化のひとつです。ブレイクアウトルームでは、他の参加者とそれぞれの文化について語り合うことができ、とても有意義な時間となりました。

実施団体：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）